

第1回 大阪市下水道事業経営検討懇談会 議事要旨

1. 開催日時 令和6年3月26日(火) 14時00分～16時00分

2. 開催方法 ウェブ会議

3. 出席者

(メンバー) 貫上委員、木村委員(座長)、塩田委員、藤原委員

(事務局) 中西調整課長代理、松原下水道経営担当課長、ほか5名

4. 議題

- 経営戦略改定の趣旨
- 大阪市下水道事業の現状と課題
- 経営戦略改定に向けた進め方

5. 議事要旨

(1) 座長、座長代理の選出について

- ・互選により木村委員が座長に就任し、藤原委員が座長代理の指名を受けた。

(2) 懇談会の非公開について

- ・本懇談会については非公開で開催する旨、確認を行った。

(3) 議題について

- ・事務局より、議題の各項目について説明を行った。

(経営戦略改定に向けた進め方について、主な意見)

- ・経営戦略を作る目的は、経営の健全化、即ち「投資の見込額とそれに対する財源をどう確保するか」という方向性について、場当たりのではなく、長期的に考える視点を持つということ。
- ・投資する事業の設定と財源の確保の2点が今後の大きな課題になってくる。投資は、上中下の3パターンぐらいのサービスレベルに応じた建設改良費を試算してはみてはどうか。サービスレベルとそれに対する財源確保というシナリオをいくつか描くことが必要ではないか。
- ・今のサービスレベルを下げるわけには行かないので、機能を維持することや地震対策を最優先の課題として、プラスのものに対して優先度をどう考えるかがポイントであり、サービスレベルの設定や、ターゲット(整備目標)をどこにおくのが大事な視点である。
- ・長期的な計画を今回定めるが、様々な不確定要素があることを前提とするならば、必

ずしもそれに縛られるということではなく、時機に応じた振り返りというP D C Aが大切になってくる。

- 財源は、国庫補助金やP P P / P F I と呼ばれる民間資金の活用、グリーンボンド等 S D G s 債など新たな金融の手法を使って調達するというような方向性をどれだけ計画に入れるかを議論することが考えられる。
- 試算をする際には、感度分析の結果を盛り込まれることも必要ではないか。
- 広域的な協働を近隣市町村と行うことによって、経営の効率化が図れないかということ、戦略の中で組み込めないか。
- カーボンニュートラルは、下水道だけで取り組んでいく内容ではなく、大阪市全体のスタンス、どうしていくのか、1つの方向性を考えていく必要がある。